

## 3 「デートDV」について考えよう

※ ここでは、交際相手からの暴力を「デートDV」とします。

### ワーク 1

事例1・2を読んで考えましょう。

#### 〈事例1〉A太とB子の場合

僕(A太)がB子とつき合いはじめたのは今年の夏休み。つき合いはじめてから半年が経つけど、お互いに好きっていう気持ちに変わりはないし、いつでも一緒にいたいって感じ。だから、暇さえあれば、いろんなところへ出かけてデートを楽しんでいるんだ。

でも、ちょっと気になることがひとつ…。デートでお茶したりご飯を食べたりする時、自分が払うことが多くなってきたんだ。つき合いはじめた頃は、おごった方がかっこいいかな、なんて思って自分から払ったりしていたんだけど、最近はB子もおごってもらって当然、みたいな感じになっているんだ。

それに、B子は、かわいいアクセサリーや小物が大好きで、ショッピングで気に入ったものを見つけると僕にプレゼントしてもらいたがるんだよね。自分がプレゼントしたものを身につけてくれるのは嬉しいし、B子がすごく喜んでくれるからつい買っちゃうんだけど…。

バイト代の大半がおごったり、プレゼント代に消えてしまう感じで、正直言って負担…。だからといってB子を好きって気持ちは変わらないし、金銭的に負担に思っていることも、B子に言う気にはなれないんだ。

#### 〈事例2〉C子とD先輩の場合

私(C子)の彼、D先輩はとっても素敵で、学校中の女の子たちにとってあこがれの存在。そんなD先輩に告白されて自分でもびっくり。もちろんすぐにOKしてつき合いはじめたの。誰にも優しいD先輩だけど、私にもとっても優しくしてくれる。いつでも私のことを気にかけてくれていて、会えない時には、「C子の声が聴きたい」と言って必ず電話をくれるし、学校で会えた日でも毎晩、お互いにメールをしてる。

でも、あることがきっかけで急にD先輩からの束縛がすごくなってきた。夏休みに入ってバイトがとて忙しくなっちゃって、電話に出られなかったり、家に帰って疲れて返信しないまま寝てしまったことが続いたことがあったの。そのことが、D先輩を怒らせてしまったみたい…。ある時、バイトが終わって店を出ると、D先輩が私のことを待っていたの。そして私を見るなり、「なんで電話しないんだよ！彼氏から電話があったらすぐ出るのが普通だろ。メールも返さないし…」って。今まで見たことのないような怖い顔だったので、急に不安になっちゃって慌てて謝ったの。でも許してもらえなくて、その日以来、電話とメールは、すぐに返さないと必ず責められるし、会えば、私の携帯電話の着信・発信履歴やメールを必ずチェックされる…。私だって、D先輩はもてるし、私と会ってない時に、他の女の子と遊んでるんじゃないかって不安に思うことがあるから、先輩の気持ちもわからなくはないけど、でも、人の携帯電話までチェックするってどうなの!?

そう思うけど、D先輩に嫌われたくないし、私のことを一番に思ってくれているからそうしてるんだって思うと、「携帯電話をチェックされるのはいや」ってなかなか言えない…。

2つの事例は「デートDV」だと思いませんか。自分の考えを書きましょう。またなぜそう思う（思わない）のか、その理由についても書きましょう。

## ワーク2

ワーク1のどちらかの事例を選び、次の点についてグループで話し合きましょう。

【自分のグループが選んだ事例に○をしましょう。 〈事例 1・2〉】

1. 「B子」や「D先輩」が相手に対してそのような態度をとるのはなぜでしょうか。

2. 「A太」や「C子」が嫌だと思っても自分の気持ちを言えずにいるのはなぜでしょうか。

3. その行為をやめてほしいということを知ってもらうために、どのように伝えたらよいか、セリフを考えてみましょう。また、伝えるにはどのような方法があるか、考えてみましょう。

4. 相手に自分の気持ちを伝えても、状況が変わらない場合には、どのような解決方法があるか、考えてみましょう。

## ワーク 3

交際相手から次のような行為があった場合、あなたはどのように受けとめますか。あてはまるものに○をつけましょう。

【ア：暴力だと思う イ：どちらともいえない ウ：暴力だと思わない】

1. たたいたり、けったりする。	ア ・ イ ・ ウ
2. 物を投げつける。	ア ・ イ ・ ウ
3. バカにしたり、傷つく言葉を言う。	ア ・ イ ・ ウ
4. 大声でどなる。	ア ・ イ ・ ウ
5. メールのチェックをする。	ア ・ イ ・ ウ
6. 友達づきあいを制限する。	ア ・ イ ・ ウ
7. 性的な行為を無理やりする。	ア ・ イ ・ ウ
8. デートの費用やお金を無理やり出させる。	ア ・ イ ・ ウ

\* 「ア：暴力だと思う」に○をつけた項目は何項目ありましたか？ 【            項目】

## ワーク 4

ワーク3の行為やそれ以外に交際相手にされたくない行為について、グループで話し合ってみましょう。

## 解説 3 「デート DV」について考えよう

### 1 ねらい

交際相手からの暴力（いわゆる「デート DV」）における「暴力行為」には、「身体的暴力」だけでなく、「精神的暴力」、「行動の制限」、「性的暴力」、「経済的暴力」があることを理解させる。交際において「暴力」が生じた場合の対処法、交際相手からの暴力についての認識のちがいをグループで話し合う活動を通して、自分を大切にし、相手のことも思いやることのできる対等な関係でいることの大切さを考えさせたい。

### 2 進め方

展開例（50分 3～4人のグループを作る）

学習活動	指導上の留意点
1 ワーク1 (10分) ① 事例を読み、それぞれの事例が「デート DV」であると思うかどうかについて自分の考えを記入する。どうしてそのように思うのか、その理由についても記入する。	○ 時間に余裕があれば、いくつかの意見を発表させ、それぞれの考え方を全体で共有してもよい。
2 ワーク2 (15分) ① 各グループで、どちらかの事例を選ぶ。 ② 選んだ事例の1～4の問いについてグループで話し合い、その内容をまとめて書く。	○ 事例に書かれた情報をもとに、どのような場面や方法、言い方で相手に伝えるとよいかを具体的に考えるよう促す。 ○ 他の人の意見を共感的に受け止めるようにするなど、互いの意見は尊重するよう促す。
3 ワーク3 (20分) ① 8つの項目について「暴力」であると思うかどうかについてチェックし、「デート DV」における「暴力」の内容について考える。また、いくつチェックしたかも書く。	

#### 4 ワーク4

- ① 交際相手にされたくない行為の内容についてグループで話し合い、その内容をまとめて書く。
- ② いくつかのグループが発表し、全体で共有する。

#### 5 まとめ (5分)

- ① まとめを聞く。

○ 各グループの話し合いの様子を把握しておき、内容が深まっているグループに発表を促す。

○ 解説等を参考にし、発表内容もふまえ、次のような観点でまとめる。

- ・ たとえ交際している関係であっても、相手の人権を侵害するような行為があってはならない。
- ・ 「デートDV」における「暴力行為」には、「身体的暴力」だけでなく、「精神的暴力」、「行動の制限」、「性的暴力」、「経済的暴力」がある。
- ・ ワーク3で提示されたような暴力が、項目によっては「暴力」として認識されていないことがあるので、このような行為を「暴力」として認識することが「デートDV」の防止に重要である。
- ・ 「デートDV」の状態に陥り、自分で解決できない場合にはそのままにせず、周囲に相談するなどの解決方法をとっていくことが重要である。

### 3 解説

#### (1) ワーク1について

生徒にとって、交際相手からの「暴力」=身体的暴力のイメージが強いことから、ワーク1では「身体的暴力」でない事例を取り上げた。横浜市市民活力推進局の「デートDVについての意識・実態調査」によれば、特に、「デートの費用やお金を無理やり出させる」、「メールのチェックや友達づきあいを制限する」という行為について、「身体的暴力」や「性的暴力」と比べて、暴力としての認識が低いという結果になっている。そこで、事例は「経済的暴力」と「行動の制限」に関わる事例を取り上げた。

#### (2) ワーク2について

事例を通して、被害者や加害者がどうしてそのような状況に陥るのかについて考えた上で、被害者側になった場合には、我慢するのではなく、まず、相手に対して自分の気持ち

をきちんと伝えていくことが重要であることや、自分で解決できない場合には、身近な人や相談機関に相談することが大切であることを認識できるようにする。

### (3) ワーク3について

ワーク3では、提示されている暴力行為について、生徒自身に自分の認識を確認させる。その結果を全体で共有すれば、人によって認識に差が出るのが想定される。暴力の認識が低いと「デートDV」の加害者にも被害者にもなりうることや、「デートDV」から抜け出せない状況に陥りやすいことを理解させるとともに、暴力の内容について十分に認識することが、「デートDV」の予防につながることを理解させたい。

高校生は、交際する機会が増える時期であり、その中で、「デートDV」に陥る可能性も十分に考えられる。なるべく早い段階で、生徒の暴力に対する規範意識を高めるとともに、「デートDV」に陥った場合に対処する方法を理解し、解決に向けて行動できる力を培うことはもちろんのこと、「デートDV」の被害者・加害者にならないよう、それぞれの心情などを深く理解するような授業を実践し、予防ができるよう啓発していくことが重要である。

「デートDV」を受けていることを本人から相談された場合は、自分(友人、家族、教職員等)は本人とつながるキーパーソンとなることを認識し、次に示す「被害者へのメッセージ」を参考にし、適切に対応することも取り上げたい。また、相談を受けた側、特に担任の教職員や、友人にあたる生徒等が全て一人で抱え込んでしまうことのないよう、学校は組織的に対応し、日頃から専門機関と連携してサポートを行う体制作りを心掛けておくことが重要である。

#### \*\*\* もしかしてデートDV?と思ったら… \*\*\*

- ◇あなたは悪くないよ。(自分をせめないで。)
- ◇自分の気持ちを大切にしよう。(相手に「いやだ」と伝えることは大切だよ。)
- ◇あなたはひとりぼっちじゃないよ。(きっとわかってくれる人がいるよ。自分の気持ちをだれかに話してみよう。)

「超カンタン デートDVの基礎知識」 かなテラス (神奈川県立かながわ男女共同参画センター)、  
認定特定非営利活動法人エンパワメントかながわ制作 (平成27年7月) より

#### 〈参考資料〉

「デートDVについての意識・実態調査報告書」 横浜市市民活力推進局男女共同参画推進課 (平成20年3月)  
「超カンタン デートDVの基礎知識」 かなテラス (神奈川県立かながわ男女共同参画センター)、  
認定特定非営利活動法人エンパワメントかながわ制作 (平成27年7月)